ご挨拶

❶出身地　❷研究内容
❸趣味　❹好きな言葉

就任のご挨拶

村上　祐司　大学院医系科学研究科　医学分野　放射線腫瘍学　教授

❶愛媛県　❷高精度放射線治療技術開発　❸音楽鑑賞、旅行　❹神は細部に宿る

この度、広島大学 大学院医系科学研究科 放射線腫瘍学研究室の教授を拝命いたしました、村上 祐司と申します。この場をお借りしまして、ご挨拶申し上げます。

私は1995年に広島大学医学部を卒業後、広島大学病院、三次中央病院、安佐市民病院にて放射線診療に従事し、2003年に広島大学に帰任いたしました。帰学後は、放射線治療医として診療、研究、教育に専心して参りました。近年は、体幹部定位放射線治療や強度変調放射線治療といった高精度放射線治療の臨床導入に尽力し、新規技術の開発および適応拡大にも取り組んでおります。

今後は、さらに高精度放射線治療の発展に寄与するとともに、新規放射性同位元素内用療法技術の開発、人工知能を用いた研究にも取り組んで参ります。併せて、優秀な放射線治療医およびスタッフの育成、多職種連携を通じた診療力の向上、そして世界水準の研究推進に努めて参る所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

坂口　裕和　大学院医系科学研究科　医学分野　視覚病態学　教授

❶兵庫県　❷網膜硝子体疾患に対する手術を主とする治療方法の開発（人工硝子体、徐放剤開発等）　❸スポーツ観戦　❹踏み出してこそ、新たな景色が見える

2024年10月1日付けで、木内 良明先生の後任としまして、大学院医系科学研究科 視覚病態学の教授を拝命いたしました、坂口 裕和と申します。1995年に大阪大学医学部を卒業し、同大学眼科に入局しました。大阪大学、ついで、2021年からは岐阜大学にて、一貫しまして、網膜硝子体手術専門に執刀を行い、加えまして、網膜硝子体疾患に関する研究、特に、人工視覚、人工硝子体、徐放剤の開発などを、他大学、企業とも協力しながら、進めて参りました。

この広島大学にて、それらの研究を実際の臨床に応用できるよう、また、さらに、世界に発信できるような臨床に直結した新たな研究ができるよう、精進したいと考えておりますので、皆様方におかれましては、是非ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。